

歯科口腔外科学

教 授 古 田 勲
助 教 授 岩 井 正 行
助 手 佐 渡 忠 司
助 手 寺 島 龍 一
助 手 中 山 圭 子

◆ 原 著

- 1) 岩井正行, 佐渡忠司, 杉本裕史, 古田 勲: 歯科口腔外科領域における柴朴湯の有用性について. 漢方診療, 15(3): 26-29, 1996.
- 2) 岩井正行, 澤田敏晴, 古田 勲, 佐渡忠司, 寺島龍一, 伊藤重人: 口腔扁平上皮癌に対する術前複合化学放射線療法の検討. 日口外誌 42: 363-369, 1996.

◆ 症例報告

- 1) 池田昌平, 岩井正行, 佐渡忠司, 古田 勲, 岳麗華: 軟口蓋に発生した乳頭状過形成の1例. 近畿北陸地区歯科医学大会誌: 3-5, 1996.
- 2) 小杉弘美, 岩井正行, 寺島龍一, 佐渡忠司, 古田 勲: 上顎洞内に反応性骨過形成を伴う歯根嚢胞の一例. 近畿北陸地区歯科医学大会誌: 6-8, 1996.

◆ 学会報告

- 1) 岩井正行, 古田 勲, 石井義人, 佐渡忠司, 寺島龍一: 口腔癌に対する術前同時化学放射線療法の効果に関する検討 - 縮小手術の可能性について -. 第14回日本口腔腫瘍学会総会, 1996, 1, 神奈川.
- 2) 古田 勲, 寺島龍一, 佐渡忠司, 伊藤重人, 岩井正行, 小野 繁: 頭頸部癌機能修復治療法の検討. 第14回日本口腔腫瘍学会総会, 1996, 1, 神奈川.
- 3) 伊藤重人, 岩井正行, 姚 立, 古田 勲: 舌扁平上皮癌におけるサイクリンD1産物の免疫組織学的検討. 第14回日本口腔腫瘍学会総会, 1996, 1, 神奈川.
- 4) 関 太輔, 諸橋正昭, 岩井正行, 古田 勲: Riga-Fede病とその類症. 日本皮膚科学会第59回東京支部学術大会, 1996, 2, 東京.
- 5) Ishikawa K.: Cell biological approach for environment of implant. 3rd Asian Congress on Oral and Maxillofacial Surgery, 1996, March, Kuching, Sarawak, Malaysia.
- 6) Yao L., Iwai M., Itoh S., and Furuta I.: Overexpression of cyclin D1 in tongue squ-

- amous cell carcinomas. 3rd Asian Congress on Oral and Maxillofacial Surgery, 1996, March, Kuching, Sarawak, Malaysia.
- 7) Furuta I., Terashima R., Sado T., Itoh S., Iwai M., and Ono S.: Systematic program of treatment and functional restoration in head and neck cancer. 3rd Asian Congress on Oral and Maxillofacial Surgery, 1996, March, Kuching, Sarawak, Malaysia.
- 8) Ishii Y., Iwai M., Furuta I., and Yao L.: Clinicopathological study on squamous cell Carcinoma of gingiva. 3rd Asian Congress on Oral and Maxillofacial Surgery, 1996, March, Kuching, Sarawak, Malaysia.
- 9) Ikeda S., Furuta I., Iwai M., Sado T., Yao L., Hirono Y., Ohtani Y., and Ohtani O.: A rare case of cervical nodal enlargement suspected as cat-scratch disease. 3rd Asian Congress on Oral and Maxillofacial Surgery, 1996, March, Kuching, Sarawak, Malaysia.
- 10) Iwai M., Furuta I., Ishii Y., Sado T., and Terashima R.: Clinical study of the efficacy of preoperative chemoradiotherapy on oral cancer-possibility of reduction of surgical area. 3rd Asian Congress on Oral and Maxillo-facial Surgery, 1996, March, Kuching, Sarawak, Malaysia.
- 11) 岩井正行, 山河ガブリエライネス, 池田昌平, 古田 勲: C型肝炎抗体陽性患者の全唾液におけるHCV-RNAおよび抗体の検出. 第50回日本口腔科学会総会, 1996, 4, 鹿児島.
- 12) 寺島龍一, 姚 立, 岳麗華, 岩井正行, 古田 勲: 前癌病変に対する p53蛋白, AgNORs の検討. 第50回日本口腔科学会総会, 1996, 4, 鹿児島.
- 13) 池田昌平, 古田 勲, 姚 立, 廣野善丈, 寺島龍一, 佐渡忠司, 岩井正行, 大谷祐子, 大谷修, 奥田泰生: 頸部リンパ節腫脹を伴い鑑別に苦慮した猫引っ掻き病の一例. 第50回日本口腔科学会総会, 1996, 4, 鹿児島.
- 14) Sado T., and Furuta I.: HA-coated implant with high-velocity flame-spraying in Maxillo-facial region. Second International Congress on Maxillofacial Prosthetics, 1996, May, Korea.
- 15) Furuta I.: Combined therapy and maxillo-facial prosthetics in treatment of head and

- neck malignancies. Second International Congress on Maxillofacial Prosthetics, 1996, May, Korea.
- 16) 佐渡忠司, 石井義人, 堀川昌子, 伊藤重人, 岩井正行, 古田 勲: 先天性表皮水疱症の歯科口腔外科治療に関する検討. 第21回日本口腔外科学会中部地方会, 1996, 6, 石川.
 - 17) 石川圭子, 岩井正行, 小杉弘美, 池田昌平, 寺島龍一, 古田 勲: 口腔内に発生した異時性三重複癌の1例. 第21回日本口腔外科学会中部地方会, 1996, 6, 石川.
 - 18) 佐渡忠司, 池田昌平, 森川正俊, 古田 勲: 長期経過観察例における顔面インプラントの検討. 第13回日本顎顔面補綴学会総会, 1996, 6, 徳島.
 - 19) 伊藤重人, 寺島龍一, 佐渡忠司, 森川正俊, 岩井正行, 古田 勲: 再結晶化アパタイトインプラントにより早期に咬合の回復を図った口腔悪性腫瘍症例の検討. 第13回日本顎顔面補綴学会総会, 1996, 6, 徳島.
 - 20) 池田昌平, 佐渡忠司, 岩井正行, 古田 勲: 下顎骨骨折を惹起したPycnodysostosis症患者の口腔機能の検討. 第13回日本顎顔面補綴学会総会, 1996, 6, 徳島.
 - 21) 和田重人, 岩井正行, 古田 勲: 口腔癌患者における免疫パラメーターの変動について. 第2回富山バイオセラピー研究会, 1996, 7, 富山.
 - 22) 伊藤重人, 岩井正行, 姚 立, 古田 勲: 舌扁平上皮癌におけるサイクリンD1産物の発現について. 第20回日本頭頸部腫瘍学会総会, 1996, 7, 福井.
 - 23) 岩井正行, 石井義人, 池田昌平, 寺島龍一, 佐渡忠司, 古田勲: 口腔癌に対する術前療法としての化学放射線療法の臨床的意義. 第20回頭頸部腫瘍学会, 1996, 7, 福井.
 - 24) 高櫻武史, 川口セレステ, 池田昌平, 岩井正行, 古田 勲: 当科における救急患者の臨床的検討. 北陸医学会第16回臨床口腔外科分科会, 1996, 8, 石川.
 - 25) 松宮弘茂, 岳 麗華, 伊藤重人, 岩井正行, 古田 勲: 当科における悪性腫瘍の臨床統計的観察. 北陸医学会第16回臨床口腔外科分科会, 1996, 8, 石川.
 - 26) 竹口英人, 小杉弘美, 佐渡忠司, 岩井正行, 古田 勲: 舌粘膜に認められた顆粒細胞腫の2例. 北陸医学会第16回臨床口腔外科分科会, 1996, 8, 石川.
 - 27) 石崎善司, 石井義人, 中山圭子, 岩井正行, 古田 勲: 上顎エナメル上皮腫症例の臨床的検討. 北陸医学会第16回臨床口腔外科分科会, 1996, 8, 石川.
 - 28) 山岸聡史, 山河ガブリエライネス, 堀川昌子, 岩井正行, 古田 勲: 当科における外傷患者の臨床統計的観察. 北陸医学会第16回臨床口腔外科分科会, 1996, 8, 石川.
 - 29) 和田重人, 姚 立, 寺島龍一, 岩井正行, 古田 勲: 口腔癌十全大補湯投与症例における免疫パラメーターの変動に関する検討. 北陸医学会第16回臨床口腔外科分科会, 1996, 8, 金沢.
 - 30) 石井義人, 寺島龍一, 岩井正行, 石崎善司, 古田 勲: 上顎洞内を占有したエナメル上皮腫の一例. 第39回日本口腔科学会中部地方会, 1996, 10, 愛知.
 - 31) 岩井正行, 松宮弘茂, 古田 勲: 咬舌癖のある小児心身症の1例. 第39回日本口腔科学会中部地方会, 1996, 10, 愛知.
 - 32) 伊藤重人, 古田 勲, 寺島龍一, 佐渡忠司, 岩井正行: 術後9年を経て再発をきたした下顎歯肉悪性黒色腫に対する咬合再建の一例. 第39回日本口腔科学会中部地方会, 1996, 10, 愛知.
 - 33) 寺島龍一, 伊藤重人, 堀川昌子, 中山圭子, 佐渡忠司, 岩井正行, 古田 勲: 頭頸部癌に対するCDDP-5FU持続点滴療法の経験. 第41回日本口腔外科学会総会, 1996, 11, 東京.
 - 34) 佐渡忠司, 岩井正行, 堀川昌子, 古田 勲, 齋藤明宏, 諸橋正昭: 特異的な口腔症状を伴った水疱症3例の検討. 第41回日本口腔外科学会総会, 1996, 11, 東京.
 - 35) 小杉弘美, 寺島龍一, 佐渡忠司, 石井義人, 岩井正行, 古田 勲: 父子に見られた基底細胞母斑症候群. 第41回日本口腔外科学会総会, 1996, 11, 東京.
 - 36) 中山圭子, 古田 勲, 尾口仁志, 瀬戸皖一, 江口吾朗: 表面修飾によるヒドロキシアパタイト生体親和性の改良. 第41回日本口腔外科学会総会, 1996, 11, 東京.
 - 37) 佐渡忠司, 寺島龍一, 岩井正行, 古田 勲: 顎顔面補綴領域におけるHAインプラントの臨床応用について. 日本口腔インプラント学会第16回近畿北陸支部総会, 1996, 11, 富山.
 - 38) 岩本真也, 澤崎茂樹, 堀 亨, 杉山英二, 小泉富美朝, 中山圭子: Relapsing chronic osteomyelitisを繰り返し診断に難渋した1例. 第26回北陸臨床免疫症例検討/研究会, 1996, 11, 金沢.
 - 39) 笹村 崇, 木村郁子, 木村正康, 岩井正行,

古田 勲：血糖調節ペプチド：Salivary peptide P-C のヒト顎下腺における局在。第40回日本唾液腺学会，1996，12，東京。

◆ その他

- 1) 寺島龍一：アパタイトインプラントの顎顔面領域への応用。第4回口腔顎顔面インプラントセミナー，1996，4，鹿児島。
- 2) 佐渡忠司：口腔顎顔面領域におけるHAインプラントの臨床と展望：シンポジウム「口腔顎顔面領域におけるオッセオインテグレイテッド・インプラントの現状と将来—わが国における多施設研究結果より—」。第4回日本顎顔面臨床生体材料研究会，1996，9，盛岡。
- 3) 佐渡忠司：歯科医院の院内感染の予防と対策，平成8年度富山県歯科衛生士会研修会，1996，10，富山。
- 4) 古田 勲：インプラントの問題点と経過不良症例の検討。日本口腔インプラント学会第16回近畿北陸支部総会教育講演，1996，11，富山。
- 5) 古田 勲：口腔の病気と健康。北日本健康セミナー，1996，12，富山。
- 6) 岩井正行：21世紀の口腔癌治療—一切らずに治るか？口腔癌。第3回アルペン口腔科学フォーラム，1996，12，富山。

臨床検査医学

教授 櫻川 信 男
助教授 新谷 憲 治

◆ 研究概要

出血性素因および血栓症の分子生物学遺伝学的研究

◆ 著 書

- 1) 櫻川信男：トロンボテスト・ヘパプラスチンテスト。「症候・異常値診断マニュアル」中井利昭編，266-275，中外医学社，1996。
- 2) 櫻川信男：播種性血管内凝固症候群。「救急医療の臨床（II版）」龍村俊樹編，215-223，医療ジャーナル社，東京，1996。
- 3) 櫻川信男：トロンビン測定&アンチトロンビン測定。「動脈硬化+高脂血症研究ストラテジー」山田信博他監修，314-323，秀潤社，東京，1996。
- 4) 櫻川信男：血管性紫斑病。「1996今日の治療指針」稲垣義昭他編，511-512，医学書院，東京，1996。
- 5) 櫻川信男：活性化部分トロンボプラスチン時間，プロトロンビン時間，トロンボテスト，ヘパプラスチンテスト，トロンビン時間。「臨床検査ガイド'96」Medical Practice 編集委員会編，640-650，文光堂，1996。
- 6) 櫻川信男：カルシウム拮抗剤と血液凝固障害。「この薬のこの副作用」松田重三編，（1版2刷）68-69，医歯薬出版，1996。

◆ 原 著

- 1) Niiya K., Shinbo M., Ozawa T., Hayakawa Y., and Sakuragawa N. : Modulation of urokinase-type plasminogen activator gene expression by inflammatory cytokines in human pre-B lymphoma cell line RC-K8. *Thrombosis and Haemostasis* 74(6) : 1511-1515, 1995.
- 2) 櫻川信男：特発性血小板減少性紫斑病 (ITP) に対する漢方治療. *Modern Physician* 16(1) : 130-135, 1996.
- 3) Ozawa T., Niiya K., and Sakuragawa N.: Absence of factor V Leiden in the Japanese. *Thrombosis Research* 81(5): 595-596, 1996.
- 4) Koike C., Hayakawa Y., Niiya K., Sakuragawa N., and Sasaki H. : The production of heparin cofactor II is not regulated by inflammatory cytokines in human hepatoma cells : Comparison with plasminogen activator inhibitor type-1. *Thrombosis and Haemostasis* 75(2) : 298-302,